

令和 3年 3月

井上菜穂 学位論文審査要旨

主 査 吉 岡 伸 一
副主査 難 波 範 行
同 前 垣 義 弘

主論文

Psychological preparations affecting the emotions of children with developmental disorders toward hospitals

(発達障害児の病院への感情に影響を与える心理学的プレパレーション)

(著者：井上菜穂、岡西徹、井上雅彦、前垣義弘)

令和 3年 Yonago Acta Medica 64巻 92頁～97頁

参考論文

1. 障害児のきょうだいの心理的支援プログラムの効果

(著者：井上菜穂、井上雅彦、前垣義弘)

平成26年 米子医学雑誌 65巻 101頁～109頁

審査結果の要旨

本研究は小児医療における心理的プレパレーションについて、自閉スペクトラム障害 (ASD) または注意欠陥多動性障害 (ADHD) の小児患者と保護者を対象に調査をおこなった。対人コミュニケーションを用いたプレパレーションをおこなうことは、病院への感情に良い影響を与える可能性があることが示唆された。また患者背景として、知的障害または感覚過敏を有する患児が怖い体験の感情を抱きやすいことが明らかになった。これらの併存症は発達障害に多く認めるものであることや、発達障害のあるこどもは不安感情が起りやすいことから、定型発達のこども以上に医師や医療スタッフとのコミュニケーションを中心としたプレパレーションを提供することが望ましいと考える。本研究から得られた結果は、医療の場だけではなく、保育や教育の場においても活用していくことができると考えられるデータであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。